

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リッケ ラボ（保育所等訪問支援）			
○保護者評価実施期間	2025/2/20 ～ 2025/3/20			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数)	23名
○従業者評価実施期間	2025/2/20 ～ 2025/3/20			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数)	3名
○訪問先施設評価実施期間	2025/2/20 ～ 2025/3/20			
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	18施設	(回答数)	18施設
○事業者向け自己評価表作成日	2025/3/31			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されている。	・半年ごとのモニタリングを行いながらも、必要に応じて保護者と面談、相談に応じながら適宜アセスメントをし直し、個別支援計画の更新を行なっている。	・今後も継続して、保護者からの相談に応じながら適宜個別支援計画の更新、変更に取り組んでいきたい。
2	・事業の目的が適切に説明されている。	・保育所等訪問のサービス概要をきちんと説明し、保護者のニーズや訪問先の状況に応じて支援方法の検討を行っている。管理職や担任へのサービス説明や情報共有を徹底して行っている。	・今後も継続して保護者のニーズ確認と訪問先の状況把握を行い、体制調整を行っていく。継続して訪問が行える様に徹底した周知を図り連携していく。
3	・こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援を提供している。	・対象児童の情報収集についてはご家族、通所事業所、訪問先からの情報をまとめ、各場面での様子を踏まえたうえで提供する支援の検討を行っている。	・引き続き本人に必要な情報を関係機関や保護者から聞き取り、現状にあったより良い支援を提供していく。情報共有を行うために、関係性を重要視し、提供できるサービスの開示、求められている支援などの確認をしっかりと行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問支援に使用する教具教材を整えることが十分でない。	・訪問員から保護者へ「教具」「教材」の説明、提案がなされていなかったために、どのような物があるか理解の促しができなかった。	・特性に応じた支援のためのツールを検討し、本人に有効な「教具」「教材」を提案する。
2	・事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が十分に行われていない。	・訪問員の情報不足のため提案が行えなかった。	・県、市町村で開催される研修会への参加や情報収集に務める。保護者のニーズを確認し、必要な情報提供が行える様に職員研修を行う。
3	・事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるような体制が整っていない。	・訪問先との緊急時対応についての話し合いが行えていなかった。また、保護者への説明が訪問員からなされていなかった。	・訪問先で想定される緊急時の対応について訪問員が把握し、保護者への周知及び確認をおこなう。